

犬神家の金田一耕助から15年。  
天河に、浅見光彦、登場。

# 天河伝 殺人事件

角川映画15周年記念作品第2弾  
市川崑監督作品

製作／角川春樹  
原作／内田康夫(角川文庫版)

脚本 久里正孝  
日本テレビ放送網株式会社  
目黒誠也  
冠本繁雄  
プロデューサー  
高澤幸男  
富澤孝男  
稲村 裕  
撮影 五十嵐信男  
美術 村本忠  
音楽 舟橋和郎  
編集 舟橋和郎  
照明 下村 天  
編劇 長田千鶴子  
助監督 永井正夫  
製作担当 堀内健司  
音楽 宮下富実夫  
監製 谷川賢作  
主演 市川右太衛門  
伴 淳三郎 藤岡 豊  
能 宮 隆 藤 隆 栄  
協力 興産会  
配給 東映

榎本孝明  
目下武史  
財前直見  
山口粧太  
岡本 麗  
岸部一徳  
奈良岡朋子  
大滝秀治  
神山 繁  
加藤 武  
岸田今日子  
伊東四朗  
石坂浩二  
岸 恵子

都心の高層ビル街の雑踏で突然昏倒した中年男、夕霧の立ち込める樹海に消えた老人、能舞台上で公演中に倒れ伏した若き能の舞い手……次々に起こった連続変死事件は、秘境〈テンカワ〉に発する妖しい糸で結ばれていた。一九九一年春、重厚にして華麗なる伝統美を誇る能楽の世界を舞台にした惨劇に隠された真実に挑むのは——浅見光彦。

警察庁刑事局長である兄をはじめ官僚エリートの家系である浅見家にあつて独自の人生を歩む光彦は、ルポライターを正業にしなから取材先で遭遇する難事件の数々を、飄々とした風貌に似合わぬ鋭い洞察力で解決してゆく。

そして今回光彦は、能の舞台になつている史蹟めぐりのルポで奈良・吉野の奥に位置

する「天河」を訪れた。そのころ東京では、能の名門・水上家の宗家・和憲が突如引退を表明、その後継者問題で揺れていた。そして後継者と目される宗家の孫兄妹には出生の秘密が隠されていたのだ。天河山中で偶然出会った水上流の長老が直後死体で発見されたことから光彦は容疑者に間違えられ、否応なく事件にかかわることになった。

## サイキックス・ポット〈テンカワ〉

天河神社には、芸能を司ぐる神・弁財天が祀られており、数多く収納された能面・能衣裳などは室町期のものにさかのぼる。そして古来、地球の中心であり宇宙と交信できる「聖地」と伝えられてきた。クライマックス、天河神社に奉納される〈新能〉の夜、怪しく人影が動く。遂に封印された謎が解き明かされる!?



# よし、わかった！犯人は浅見光彦？

## 内田康夫&市川崑コンビがおくる超感覚ミステリー

原作は88年に発表された内田康夫の同名小説。82年「後鳥羽伝説殺人事件」に始まる〈浅見光彦シリーズ〉は現在も刊行中で延べ一千五百万部以上のベストセラーを記録しているだけにまさに待望の映画化といえる。

監督は、「犬神家の一族」で金田一耕助をスクリーンに送り出した、名匠・市川崑。「獄門島」「病院坂の首縊りの家」で見た鋭いミステリーの手法に、「細雪」「竹取物語」等における日本の伝統美への独特のアプローチを加え、光と影のコントラストを強調した端正な映像美で神秘的な伝奇ロマンを構築する。

## 戦慄のドラマを支える豪華キャスト陣

出演は、浅見光彦に榎本孝明。「天と地と」の上杉謙信役から一転、二枚目半のユニークな探偵像をつくる。天河で旅館を営む美貌の女主人に「悪魔の手毬唄」「細雪」など市川作品に欠くことのできない岸恵子が扮する他、財前直見、日下武史、伊東四朗、大滝秀治、岸田今日子、岸部一徳ら新鋭・円熟の演技陣が火花を散らす。また金田一耕助を演じた石坂浩二と、市川ミステリーでおなじみの加藤武がドラマを盛り立てる。なお、同名主題歌を関口誠人が唄う（2月14日ポニーキャニオンより発売）。

76年「犬神家の一族」、77年「人間の証明」、81年「セーラー服と機関銃」。常にその時代のミステリーを築いてきた角川映画が91年春、再び世に問う本格ミステリーロマン、それが「天河伝説殺人事件」である。

’91年3月、全国洋画系ロードショー